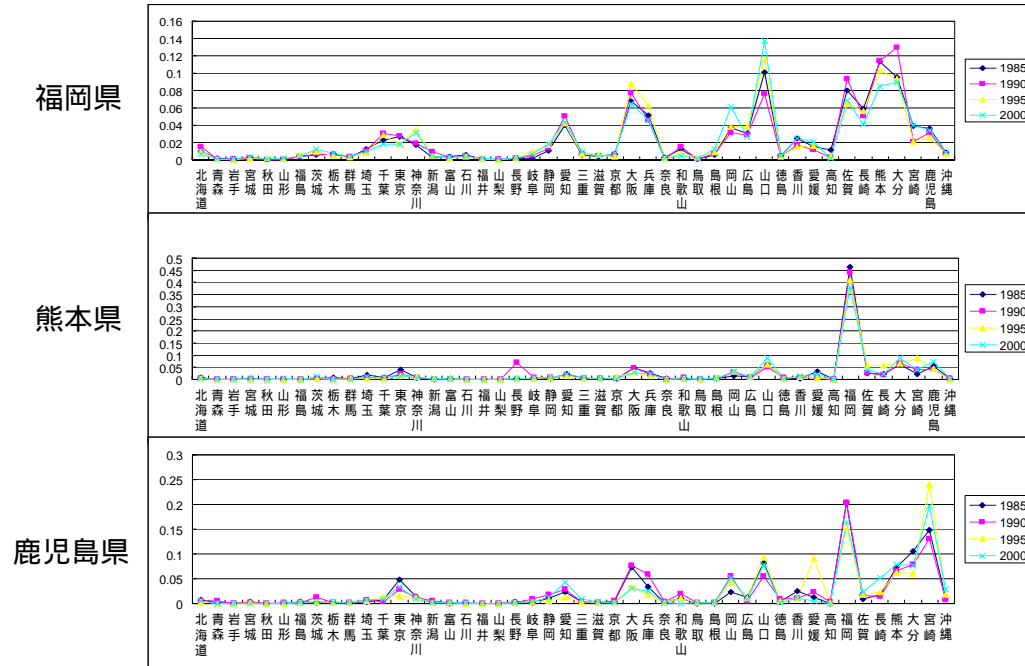


指標：府県間の物の流動量

府県間の物の流動を見ると、ブロック内における流動が大きい。九州を例にとると、福岡県ではブロック内各県とブロック外大都市圏への流動が多く、熊本県、鹿児島県では、ブロック内とりわけ福岡県への流動が大きい傾向がある。

他県との物流における各県の割合(九州の例)



注：全国貨物純流動調査では、サンプル調査により貨物流動について県間のOD表を整理している。